

本会議から付託された案件1件を審査するため、平成26年7月22日に厚生委員会を開催しました。

## 議案第50号 総社市一般会計補正予算（第3号） のうち、本委員会の所管に属する部分

### ～内容～

吉備線のLRT化基本計画案の作成委託料。

### ～結果～

次のような、質疑、討論の結果、本委員会の所管に属する部分は、起立多数により**可決**すべきであると決定。

### ～質疑～

問：平成21年度に250万円の予算で委託し作成した「総社市交通戦略基本構想」の作成経緯と、活用状況はどうか。

答：平成14年にJR西日本から吉備線LRT化基本構想が発表され、危機感があった。市として、吉備線をどうしていくのかという部分の第1歩を考えたもの、どのような手法があるか検討したものである。十分には活用はできていない。

問：委託のスケジュールはどうか。成果物により、議員間、民間などとの議論の場が必要と思われるがどうか。

答：平成26年度いっぱいやっていきたい。要所で意見を伺う場を設定していきたい。

問：450万円の数字的な裏付けはどうか。

答：岡山市が委託した内容は、約1,900万円であった。岡山市とのテーブルを持つために、総社市の部分をやらなければならない、参考見積もりなどで計上した。

問：LRTについてのメリット、デメリットはどのように考えているか。沿線に住宅地を持ってきて利用者を増やすなどの考えはあるか。

答：具体的に考えているものは、まだない。岡山市はコンパクトシティとうたっているが、総社市の場合にコンパクトシティが適当かどうかはまだ分からない。どういうふうに考えていかなければならないか、今回、それも含めてやっていきたい。

### ～討論～

反対討論：平成22年1月に作成された基本構想を議会に諮らずに、再びコンサルにLRT化基本構想作成業務を任せることは、経費の無駄である。財政が厳しい状況の中で許されない。委託料について反対する。